

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 黒沢工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	単価表 番号 44 7-(1) 基礎杭 場所打ちコンクリート杭 (人力掘削) 機械掘削に変更することは可能でしょうか。	共通仕様書 7-2-4 (2) に示す通りです。施工機械については、任意性のあるものになりますので貴社の施工計画に基づきお考えください。
2	割掛対象表参考内訳書 【共通仮設費】の工事用機械分解組立費 (基礎杭) に、クラムシェル 0.4m ³ が 1 台 2 往復計上されていますが、使用する場所は黒沢橋 P1 及び黒沢川橋 P3 と考えてよろしいでしょうか。 使用場所が上記の場合、単価表 番号 44 7-(1) 基礎杭 場所打ちコンクリート杭 (人力掘削) と相違すると思われそうですが、どの様にお考えでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
3	特記仕様書 28-4 構造物掘削 構造物掘削 特殊部Dの作業内容 3) において、「P 1 橋脚施工ヤード」と「自工区仮置場」に運搬する土量の内訳をご教示願います	設計図書に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
4	図面 用排水溝詳細図 43/48 P-Bx-0.30-0.30 の数量表に掘削、残土、埋戻しの数量がありません。数量をお示し願います。	設計図 (1/7) 本線 43/48 に示す通り、据付けのみで掘削、埋戻し等は含まないものとお考えください。
5	橋梁下部工のコンクリートに使用するセメントは、高炉 B 種でしょうか。ご教示願います。	共通仕様書 8-2-3 に基づきお考えください。
6	本件の工事に伐採は含まれるでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書 29-1 (1) に示す通りです。
7	特記仕様書 2 8 - 7 基礎杭 深礎杭のモルタルライニングは、金網入り吹付コンクリートでしょうか。また、設計基準強度についてご教示願います。	設計図 (4/7) 黒沢橋下部工 38/38 及び設計図 (5/7) 黒沢川橋下部工 29/90・30/90・90/90 に示す通りです。また、基準強度について共通仕様書 7-2-3 に示す通りです。
8	特記仕様書 2 8 - 7 基礎杭 基礎杭裏込めグラウトの仕様についてご教示願います。	共通仕様書 7-2-3 に示す通りです。
9	上部路床、下部路床に使用する TN ズリの規格の適合判定は、黒沢工事には含まれないと考えて宜しいでしょうか。	共通仕様書 2-7-2 に示す通り本工事に含むものとお考えください。

10	ターレットの電源は商用電源または発動発電機のどちらと考えると宜しいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
11	工事用仮栈橋の設置期間は上部工工事完了までと記載されておりますが、上部工工事の完了期日をご提示ください。	特記仕様書 28-14 に示す通り、本工事は工事用仮栈橋の設置のみとなり、上部工工事へ引渡し後は、他工事で撤去を行うものとなります。
12	工事用の仮栈橋の鋼材等の材料は全て中古の購入と考えると宜しいでしょうか。	ボルト・ナット類は新品とお考えください。なお、交付図書を訂正致しますので、後日訂正公告をご確認ください。(3月3日掲載予定)
13	R5.3.1 に公共労務単価の更新がありますが、今回、採用されている労務単価は R5 年度単価を採用していると考えて宜しいでしょうか。	令和 5 年 2 月 21 日掲載の質問番号 9 に対する回答を参照ください。
14	黒沢橋、黒沢川橋の使用開始時期が特記に記載されておりますが、工事量から勘案すると非常にタイトであると思われまます。使用開始の時期について協議・変更は可能と考えて宜しいでしょうか。	監督員が必要と認めた場合について、別途協議事項とお考えください。
15	特記仕様書 28-4 構造物掘削 単価表の項目欄「構造物掘削 特殊部 A」の 1) に「低振動対策バイブロハンマを使用・・・」とありますが、施工方法欄では「電動式バイブロハンマ」とあります。どちらを使用するかご教示ください。	令和 5 年 2 月 24 日掲載の訂正公告をご確認ください。
16	特記仕様書 28-4 構造物掘削 単価表の項目欄「構造物掘削 特殊部 B」の 1) に「無振動対策の油圧式杭圧入引抜機・・・」とありますが、施工方法欄では「電動式バイブロハンマ」と「無振動油圧式杭圧入引抜機」とあります。施工方法をご教示ください。	設計図 (7/7) 参考図 12/21 に示す通りです。
17	特記仕様書 28-4 構造物掘削 単価表の項目欄「構造物掘削 特殊部 C」の引抜の施工方法をご教示ください。	特記仕様書 28-4 に基づきお考えください。
18	特記 p.22 道路掘削 (土砂表土 A) の 2) 「本線下部路体への・・・」とありますが、下部路床ではないでしょうか、ご提示願います。	特記仕様書 28-2 に基づきお考えください。
19	特記 p.22 道路掘削での土質説明記載で土砂 (表土) の土質区分は土砂 C とありますが、土砂 E ではないでしょうか、ご提示願います。	その通りお考えください。なお、交付図書を訂正致しますので、後日訂正公告をご確認ください。(3月3日掲載予定)

20	特記 P.22 道路掘削（土砂 A）における本線路体部土量と裏込め盛土量の配分をご提示願います。	設計図書に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
21	特記 P.22 盛土工（B3）における本線路体部土量と裏込め盛土量の配分をご提示願います。	設計図書に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
22	特記 P.22 盛土工（B1～B3）における TN ずりの土質区分をご提示願います。	令和 5 年 2 月 24 日掲載の訂正公告をご確認ください。
23	構造物掘削（特殊部 B）におけるアンカー工の土質性状が不明なので、開示願います。	設計図（5/7）黒沢川橋下部工 35/90～41/90 に基づきお考えください。
24	擁壁工土留め工図（1）の平面図にて、妻部にクリアランスなしで H 鋼が配置されていますが、打設不可能と考えます。配置を再検討した場合に変更対象となるのでしょうか、ご提示願います。	監督員が必要と認めた場合について、別途協議事項とお考えください。
25	構造物掘削特殊部 A～C において、鋼製山留材の撤去時に発生するスクラップ費用は計上しますか、ご提示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
26	物価資料は何月号を使用していますか、ご提示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
27	構造物掘削（特殊部 B）におけるアンカー工の土質性状が不明なので、開示願います。	設計図（5/7）黒沢川橋下部工 35/90～41/90 に基づきお考えください。
28	黒沢川橋下部工図 73 の P4 橋脚仮土留め工詳細図において、山留数量表の消耗材の数量が火打ちピースを含めた小計の 4%となっています。火打ちピースは抜いた数量の合計（256.63 t）に消耗品費率 4%を掛けた数量（10.265 t）ではないでしょうか、ご提示願います。	その通りお考えください。なお、交付図書を訂正致しますので、後日訂正公告をご確認ください。（3 月 3 日掲載予定）
29	構造物掘削特殊部 D－鉄筋挿入工－における地質分類をご提示願います。	設計図（2/7）補強土壁工 32/36 に基づきお考えください。

30	工事用道路（参考図 11/21）特記 P.11 において、本線へのルートは 2 ルート（3 国道 107 号-2 付替市道、3 国道 107 号-1 市道上黒川線）あります。この 2 ルートの使い分けをご提示願います。	特記仕様書 11 に示す「秋田自動車道 黒沢川橋 P1・P2 下部工工事（仮称）」で市道上黒沢線上に P1 橋脚の施工を予定しており、施工着手後は付替市道のみの使用を想定しています。なお、P1 橋脚の施工着手時期は、工事工程表（概略工程表）に示す期間（R5.6～R7.6）の内、R6.4～を予定しています。
31	本工事における経費区分をご提示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
32	用・排水溝（P-Bx-0.30-0.30）金抜き設計書（No.25）は、本線図 43/48 によると据付工のみと考えられますが他作業（掘削、埋戻し他）は含まないということでしょうか、ご提示願います。	その通りお考えください。
33	地盤改良工-中層混合処理 A（金抜き設計書 No.69）における工事用機械分解組立費は考慮していますでしょうか、ご提示願います。	割掛対象表参考内訳書【共通仮設費】に示す通りです。
34	工事用栈橋図(7/44)数量総括表の覆工板の単位重量が 424.0kg/m ² と記載されておりますが、212.0kg/m の誤記ではないでしょうか。	覆工板について、正しくは 212kg/m ² となります。交付図書を訂正致しますので、後日訂正公告をご確認ください。（3 月 3 日掲載予定）
35	特記仕様書の 28-4 構造物掘削 単価表項目欄「構造物掘削 普通部 A-2」作業内容欄「1）黒沢橋 P3 橋脚部の掘削」と記載されていますが、黒沢川橋 P3 橋脚部で良いでしょうか。	令和 5 年 2 月 24 日掲載の訂正公告をご確認ください。
36	特記仕様書 P29～30 28-12 地盤改良工（4）施工「工事用水は近隣地域等から調達」とは、近傍の河川のどこを指すのでしょうか、御教示願います。	給水場所の指定はありませんので、貴社の施工計画に基づきお考えください。
37	割掛対象表内訳書の【共通仮設費】「地盤改良工における中層混合処理機が重量 20 t を超えます」ので、重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用に該当するのではないのでしょうか、御教示願います。	割掛対象表参考内訳書【共通仮設費】に示す通りです。
38	工期の関係で冬期に養生を行ってコンクリート工事を行うことは可能でしょうか。またその養生費用は変更事項になると考えて宜しいでしょうか。	特記仕様書 10-2 に示す通りです。
39	直接工事費の中で経費対象額から控除される項目をご提示ください。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。

40	特記仕様書の「10-3 河川内工事における施工時期」に工事用仮栈橋(河川部)の施工期間は10月1日～翌3月31日と記載されておりますが、仮栈橋のどこからを河川部と考えてよろしいでしょうか。ご提示願います。	設計図(6/7)工事用仮栈橋1/44に示す河川区域の範囲(KP2~KP10付近)とお考えください。
41	金抜設計書番号39~41 基礎杭-場所打ちコンクリート杭-人力掘削(φ25000、φ3000、φ10000)について、軟岩部は発破による破砕を見込まれておられますか、ご教示願います。	設計図書に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
42	設計図黒沢橋下部工20/30、黒沢川橋下部工60/90に記載のφ10000の仮設ライナープレート及び補強リングについて、仮設ライナープレート及び補強リングの材料費は新品購入・スクラップ計上との理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
43	特記仕様書P12 13-4(1)工事用道路の散水・清掃等の維持に要する散水車の運転は1日当たり何時間を見込まれておられますか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
44	特記仕様書P12 13-4(2)泥落とし装置(乾式・全輪型)の設置期間は何ヶ月を見込まれておられますか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
45	特記仕様書P12 13-4(3)使用する高圧洗浄機の仕様をご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
46	特記仕様書P12 13-4(3)水を貯める水槽が必要と思われませんが、水槽の費用は見込まれておられますか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
47	特記仕様書P32 材料費について、材量区分は中古品と記載されていますが、摩擦接合用高力ボルト六角F10Tは締付けトルクの観点から新品との理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	ボルト・ナット類は新品とお考えください。なお、交付図書を訂正致しますので、後日訂正公告をご確認ください。(3月3日掲載予定)
48	設計図工事用仮栈橋工13/44 台座ピースについて、台座ピースの製作に要する費用は金抜設計書番号76-工事用仮栈橋工-上部工設置に見込まれておられますか、ご教示願います。	その通りお考えください。
49	設計図工事用仮栈橋工16~18/44 仮栈橋覆工板は、図面に記載通りすべり止め加工も見込むとの理解で宜しいでしょうか、ご教示願います。	その通りお考えください。

50	設計図工事用仮栈橋工 19/44 曲げプレートについて、曲げプレートの曲げ加工費は金抜設計書番号 76-工事用仮栈橋工-上部工設置に見込まれておられますか、ご教示図います。	その通りお考えください。
51	設計図工事用仮栈橋工 31~27/44 プレートについて、スチフナープレート・ベースプレート・トッププレート等のボルト接合部についての孔あけ加工費は、金抜設計書番号 77-工事用仮栈橋工-下部工設置に見込まれておられますか、ご教示願います。	その通りお考えください。
52	設計図工事用仮栈橋工 28/44 支持杭接合部について、プレートの孔あけ加工費は、金抜設計書番号 77-工事用仮栈橋工-下部工設置に見込まれておられますか、ご教示願います。	その通りお考えください。
53	設計図工事用仮栈橋工 43/44 ダウンザホールハンマの削孔部の充填材について、充填材の砂・モルタルの規格・仕様についてご教示願います。	特記仕様書 28-14 (3) に基づきお考えください。
54	金抜設計書番号 76 工事用仮設栈工下部工について、設計図工事用仮栈橋工 44/44 に示すダウンザホールハンマ施工以外の部分の橋脚杭L1部分（継施工の上部、重量：85.096 t）の設置に要する手間は、図面 43・44/44 に記載の数量集計に記載がございませんが、この単価項目に見込まれておられますか、ご教示願います。	その通りお考えください。
55	金抜設計書番号 77 工事用仮設栈工上部工について、鋳桁部材の単価は見積りでしょうか、ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
56	設計図参考図 7/21 ターンテーブルの運転について、ターンテーブルの重量は 10 t ですが、設置・撤去に要する費用を見込まれておられますか、ご教示願います。	ターンテーブルの設置・撤去に係る費用は含まれます。